

これからの教育の方向性について

先週、前期後半が始まり、学校にたくさんの子供たちが戻り、明るい笑顔をみせてくれました。どの子供も、一回り大きくなったような気がしました。子どもたちの成長の速さに、改めて驚かされます。輝く未来と可能性をもった、そんな子供たちを見守りながら、将来にむけて子供たちにどんな力をつけていかなければいけないのかを考えてみました。

東京オリンピックが開催される2020年に、教育界では大きな変革が行われる予定です。それは、大学入試の変更です。これまでの大学入試センター試験が廃止されます。それに代わるテストの導入が文科省で検討されています。現在の中学2年生の子供たちから、この新システムに対応することになります。

それまでの知識偏重の入試から、獲得した知識や技能を基盤にして、正解のない問題に自ら答えを見出していく、思考力・判断力・表現力等が求められていくようになると思います。では、それに対応していけばよいのでしょうか？それは、「主体的な学び」だと思います。一人ひとりが自分は何を目的にして学びたいのかを考え、その目的のためにもっとよい方法は何かを考え、それを実践し続けることです。そして、この姿勢を親として、自分の背中を子供に見せていくことは、とても大切です。

親として目先の学習に気がいってしまうのは、当然ですが、長いスパンで子供の成長を促していくことも大切だと思います。本校でも、これらの動向を意識しながら、本校の子供たちにあった指導を模索していきたいと考えています。これからもご支援・協力をよろしくお願いいたします。



pixta.jp - 19667145

ホノルル美術館に行ってきました。



先日、ホノルル美術館に行ってきました。そこで、歌川広重の浮世絵を見てきました。教科書でしか見たことなかった作品を、実物を間近で見られる機会はとても稀で、大変、感動いたしました。描かれている構図や使われている顔料など本物でしか味わえないものでした。その作品の素晴らしさは、先人たちの偉大さや日本文化の凄さを感じさせるものでした。改めて、日本人としての誇りを感じさせていただきました。この感動を子供たちにも是非、感じてほしいと思いました。ホノルル美術館は、入館無料の日もあります。現地校は、まだ夏休み中と思いますので、機会があったら、子供と一緒にご観覧することをお勧めいたします。とても貴重な体験ができると思います。

熱中症予防のために

日本では、夏休みに入った頃ですが、ここハワイでも暑さは、これからといった感じがします。この暑さの中、子どもたちは、昼休みの時など、元気よくグラウンドで走り回っています。また、運動会に向けての練習も少しずつ行っています。夏休みとは、生活リズムも変わります。心配されるのは「熱中症」です。学校としても、十分に注意してきたいと思っております。保護者におかれましては、十分な水分補給ができるように、少し多めに水分を準備していただくとありがたいです。

また、体調の変化等、心配なことがありましたら、担任にご連絡ください。気を付けながら見守っていききたいと思います。

